

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限	
主投資対象	「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。直接公社債等に投資する場合があります。	
運用方針	しんきん先進国債券インデックス (為替ヘッジあり) (投資一任用)	<ul style="list-style-type: none"> マザーファンドの受益証券への投資を通じて、外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。
	しんきん先進国債券インデックス (為替ヘッジなし) (投資一任用)	<ul style="list-style-type: none"> マザーファンドの受益証券への投資を通じて、外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	為替ヘッジあり／ 為替ヘッジなし (共通)	<ul style="list-style-type: none"> マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。 市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主投資制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
収益分配方針	<p>年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>	

運用報告書(全体版)

しんきん先進国債券インデックス
(為替ヘッジあり)(投資一任用)
(為替ヘッジなし)(投資一任用)

決算日

(第2期:2023年11月20日)


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用)／(為替ヘッジなし)(投資一任用)」は2023年11月20日に第2期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 (土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

目 次

◇しんきん先進国債券インデックス	頁
為替ヘッジあり（投資一任用）	1
為替ヘッジなし（投資一任用）	9
分配金のお知らせ	17
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	18

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース) [*]		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円		円		%	ポイント	%	百万円
2022年2月18日	10,000	—	—	—	—	10,000	—	0.1
1期(2022年11月21日)	8,034	0	△19.7	8,718	△12.8	94.6		0.1
2期(2023年11月20日)	6,655	0	△17.2	8,260	△5.2	97.7		1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注4) FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投資が算出したものです。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース) [*]		債 組 入 比	券 率
	騰 落	率	騰 落	率		
(期首)	円	%	ポイント	%		%
2022年11月21日	8,034	—	8,718	—		94.6
11月末	8,080	0.6	8,769	0.6		93.7
12月末	7,945	△1.1	8,614	△1.2		93.9
2023年1月末	7,547	△6.1	8,761	0.5		97.4
2月末	7,358	△8.4	8,541	△2.0		96.3
3月末	7,498	△6.7	8,699	△0.2		96.6
4月末	7,467	△7.1	8,662	△0.6		97.8
5月末	7,383	△8.1	8,568	△1.7		101.4
6月末	7,327	△8.8	8,501	△2.5		102.4
7月末	7,051	△12.2	8,456	△3.0		96.2
8月末	6,866	△14.5	8,377	△3.9		100.3
9月末	6,561	△18.3	8,139	△6.6		98.4
10月末	6,510	△19.0	8,082	△7.3		97.9
(期末)						
2023年11月20日	6,655	△17.2	8,260	△5.2		97.7

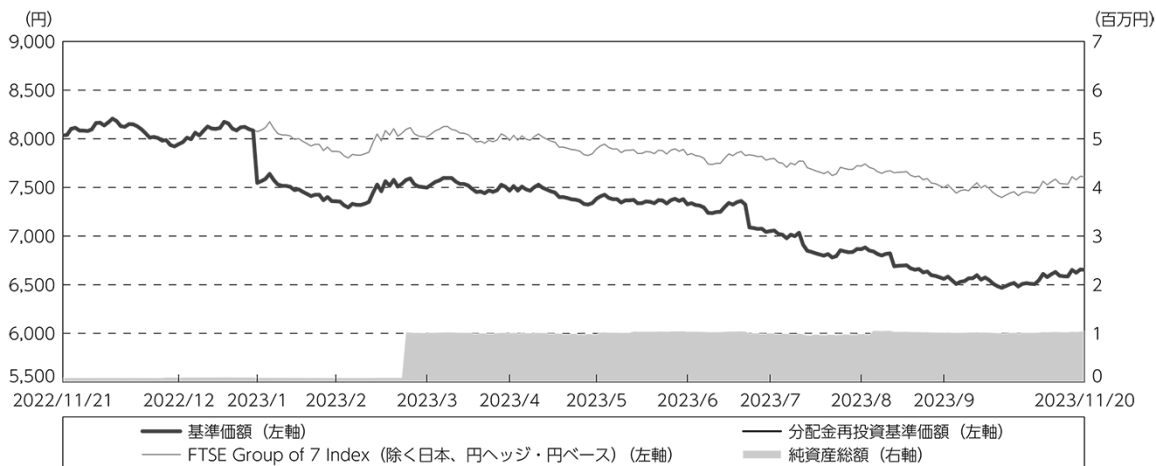
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み合わせますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第2期の運用経過等（2022年11月22日～2023年11月20日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)は、期首(2022年11月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注3) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)です。

＜基準価額の主な変動要因＞

当ファンドは、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・2023年3月に、米国地方銀行の経営破綻や欧州金融機関に対する信用不安の高まり等を受けたリスク回避の動き等から世界的に金利が低下したこと。

＜下落要因＞

- ・米連邦準備制度理事会(FRB)によって積極的な利上げが行われ、長期にわたり高金利を維持するとの観測が市場で強まったことや、米国国債の格下げや増発による需給環境の悪化が懸念されたことなどから、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・欧州のインフレ高進を抑制するため、欧州中央銀行(ECB)が積極的な金融引締めを行ってきたことから、欧州主要国の金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

＜投資環境＞

（米国債券市況）

当期初は、レンジ内での推移が見られました。その後、米消費者物価指数（CPI）などがインフレ高進の鈍化を示したものの、米国経済の堅調さを示す経済指標が相次いだことや、FRB高官によるタカ派発言が散見されたことから、追加利上げ観測が広がり、米国債金利は上昇しました。その後も米国経済の底堅さを受けた米国債金利の上昇が続く中、2023年8月には米国国債の格下げや増発が公表され、需給の悪化懸念が広がる中、米国債金利はさらに上昇しました。また、9月と10月においても、FRBが高水準の政策金利を長期間維持するとの見方が市場で広がったことで、米国債金利は上昇基調で推移しました。一方で、11月初めに行われた米連邦公開市場委員会（FOMC）におけるパウエルFRB議長の発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、当期末にかけて米国債金利は低下しました。

（欧州債券市況）

当期初以降、ECB政策理事会において政策金利の利上げが連続して決定される中、金利は上昇基調で推移しました。ただ、ドイツをはじめとする欧州各国の経済指標が落ち込み、欧州の景況への懸念が強まったことや、中国不動産市場および中国経済に対する警戒が強まったこと、欧米のインフレ鈍化傾向が続いたことなどを背景に、欧州債金利は揉み合いながら緩やかに上昇しました。一方で、当期末にかけては、ユーロ圏の2023年10月の購買担当者景気指数（PMI）の軟調な結果等を背景として、欧州経済の減速が市場で意識されたことを受けて、欧州債金利は低下しました。

（為替市況：ドル円市場）

当期初は円高が進展する局面も見られました。その後、2023年4月から6月末にかけては、米国の金融引締めや、日銀による金融緩和継続の姿勢が意識され、米ドル高円安基調で推移しました。しかし、7月に内田日銀副総裁によるインタビュー記事が注目され、政策修正が意識されると、一時的に円が買われる場面もありました。8月には日銀によって政策変更が行われましたが、さらなる金融引締めのタイミングが遠いであろうことが市場で意識されたことや、米国経済の底堅さを背景とした米国債金利の上昇を受けて、8月以降は再び円安基調での推移となりました。

（為替市況：ユーロ円市場）

当期初は円高が進展する局面も見られました。その後、2023年4月から6月末にかけては、ECBが金融引締めを積極的に進めていたことや、日銀の総裁交代後も日本の金融政策が直ちには変更されないとの理解が市場で広がったことから、大きくユーロ高円安が進行しました。7月以降は、ドイツの経済指標が大きな落ち込みを示したことや、欧州圏のインフレ率の鈍化を背景にECBが利上げペースを緩めるとの観測が広がる中、ユーロ円は上値が抑えられる展開となりました。一方で、当期末にかけては、ECBのラガルド総裁が当面の利下げを排除する旨の発言を行ったこと等を受けて、再びユーロ高が進む局面も見られました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末の2023年11月20日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.36年、時価最終利回りは4.24%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当期の基準価額の騰落率は△17.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は△5.2%となりました。この差は、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による影響のほか、ファンド関係費用およびカストディーフィー（保管費用）などの費用がファンドの純資産総額に対して相対的に大きな負担となったことによるものです。

<分配金>

当期の収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期
	2022年11月22日～ 2023年11月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年11月22日～2023年11月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 14	% 0.197	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(12)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	768	10.522	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(705)	(9.656)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(3)	(0.035)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(61)	(0.831)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	782	10.719	
期中の平均基準価額は、7,299円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

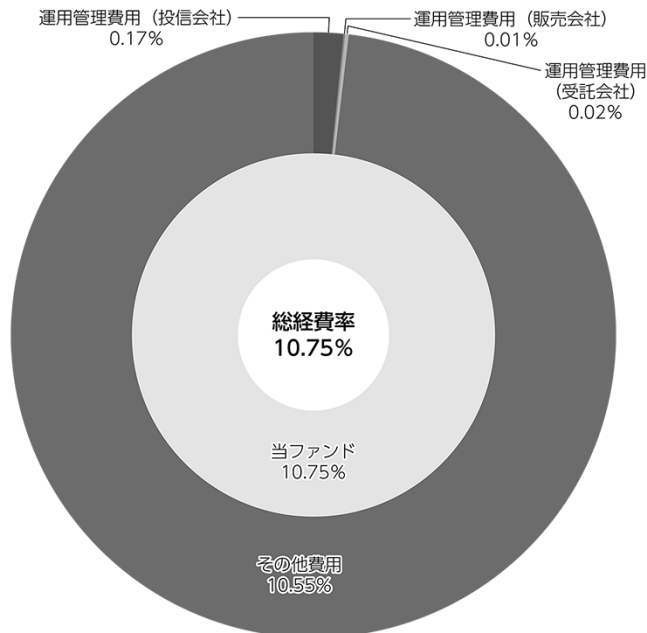
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は10.75%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）（投資一任用）

○売買及び取引の状況

（2022年11月22日～2023年11月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 960	千円 968	千口 110	千円 119

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年11月22日～2023年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2022年11月22日～2023年11月20日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年11月22日～2023年11月20日）

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
千円 -	千円 1,000	千円 -	千円 1,000	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

（2023年11月20日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 76	千口 926	千円 1,042

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）（投資一任用）

○投資信託財産の構成

（2023年11月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん先進国債券インデックススマザーファンド	1,042	97.7
コール・ローン等、その他	24	2.3
投資信託財産総額	1,066	100.0

（注1）評価額の単位未満は切り捨て。

（注2）しんきん先進国債券インデックススマザーファンドにおいて、2023年11月20日現在における外貨建純資産（3,034,273千円）の投資信託財産総額（3,039,399千円）に対する比率は99.8%です。

（注3）外貨建資産は、2023年11月20日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年11月20日現在、1ドル=149.95円、1カナダドル=109.25円、1ユーロ=163.54円、1ポンド=186.69円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年11月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,061,760
コール・ローン等	24,546
しんきん先進国債券インデックススマザーファンド(評価額)	1,042,213
未収入金	995,001
(B) 負債	1,011,339
未払金	1,010,270
未払信託報酬	943
その他未払費用	126
(C) 純資産総額(A－B)	1,050,421
元本	1,578,510
次期繰越損益金	△ 528,089
(D) 受益権総口数	1,578,510口
1万円当たり基準価額(C/D)	6.655円

（注1）当ファンドの期首元本額は103,487円、期中追加設定元本額は1,575,023円、期中一部解約元本額は100,000円です。

（注2）1口当たり純資産額は0.6655円です。

○損益の状況（2022年11月22日～2023年11月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 50,671
売買益	144,903
売買損	△195,574
(B) 信託報酬等	△ 76,257
(C) 当期損益金(A+B)	△126,928
(D) 前期繰越損益金	△ 2,553
(E) 追加信託差損益金	△398,608
(配当等相当額)	(54)
(売買損益相当額)	(△398,662)
(F) 計(C+D+E)	△528,089
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△528,089
追加信託差損益金	△398,608
(配当等相当額)	(2,063)
(売買損益相当額)	(△400,671)
繰越損益金	△129,481

（注1）損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（0.0円）、費用控除後の有価証券等損益額（0.0円）、および信託約款に規定する収益調整金（2,063円）より分配対象収益は2,063円（10,000口当たり13円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	額			FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) [*]			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰	落 率	中 率		
(設定日)	円								百万円
2022年2月18日	10,000				ポイント	%		%	0.1
1期(2022年11月21日)	10,384			0	10,387	3.8		98.8	2
2期(2023年11月20日)	11,202			0	11,232	7.9		97.5	12

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注4) FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	額			FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) [*]		債 組 入 比 率
		騰 落	率	騰 落	率		
(期首)	円		%		ポイント	%	%
2022年11月21日	10,384		—		10,387	—	98.8
11月末	10,352		△0.3		10,344	△0.4	98.8
12月末	9,836		△5.3		9,898	△4.7	98.4
2023年1月末	9,927		△4.4		9,955	△4.2	98.5
2月末	10,072		△3.0		10,084	△2.9	98.2
3月末	10,185		△1.9		10,159	△2.2	97.8
4月末	10,261		△1.2		10,289	△1.0	97.8
5月末	10,534		1.4		10,575	1.8	97.2
6月末	10,939		5.3		10,968	5.6	97.9
7月末	10,675		2.8		10,678	2.8	97.9
8月末	10,976		5.7		11,005	5.9	97.7
9月末	10,827		4.3		10,868	4.6	98.1
10月末	10,796		4.0		10,821	4.2	97.8
(期末)							
2023年11月20日	11,202		7.9		11,232	8.1	97.5

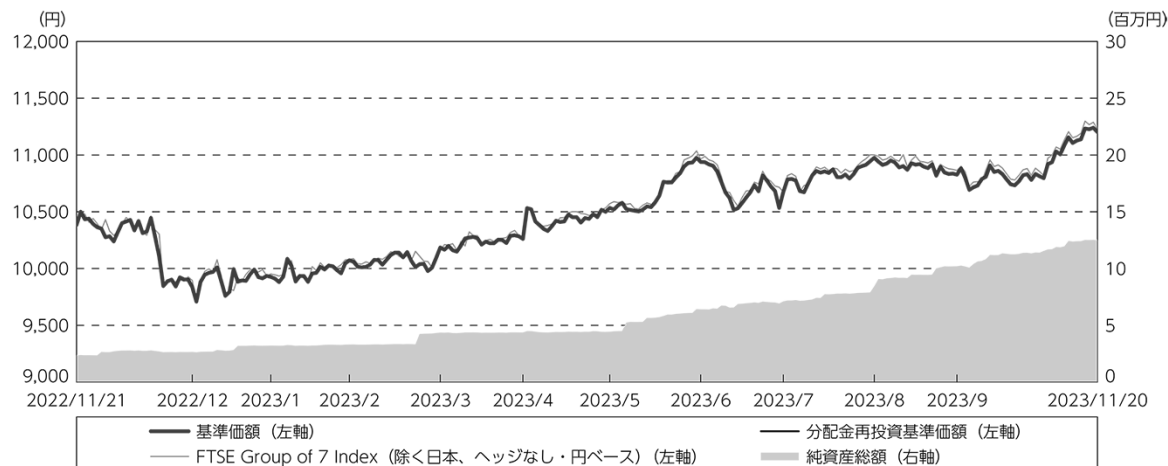
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第2期の運用経過等（2022年11月22日～2023年11月20日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、期首(2022年11月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注3) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

＜基準価額の主な変動要因＞

当ファンドは、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）が積極的な金融引締めを続け、日米金利差が拡大したことから、米ドルが対円で上昇したこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）がインフレ高進を抑制するために、積極的な金融引締めを進めたことで、日欧金利差の拡大が意識され、ユーロが対円で上昇したこと。

＜下落要因＞

- ・FRBによって積極的な利上げが行われ、長期にわたり高金利を維持するとの観測が市場で強まったことや、米国国債の格下げや増発による需給環境の悪化が懸念されたことなどから、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・欧州のインフレ高進を抑制するため、ECBが積極的な金融引締めを行ってきたことから、欧州主要国の金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

＜投資環境＞

（米国債券市況）

当期初は、レンジ内での推移が見られました。その後、米消費者物価指数（CPI）などがインフレ高進の鈍化を示したものの、米国経済の堅調さを示す経済指標が相次いだことや、FRB高官によるタカ派発言が散見されたことから、追加利上げ観測が広がり、米国債金利は上昇しました。その後も米国経済の底堅さを受けた米国債金利の上昇が続く中、2023年8月には米国国債の格下げや増発が公表され、需給の悪化懸念が広がる中、米国債金利はさらに上昇しました。また、9月と10月においても、FRBが高水準の政策金利を長期間維持するとの見方が市場で広がったことで、米国債金利は上昇基調で推移しました。一方で、11月初めに行われた米連邦公開市場委員会（FOMC）におけるパウエルFRB議長の発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、当期末にかけて米国債金利は低下しました。

（欧州債券市況）

当期初以降、ECB政策理事会において政策金利の利上げが連続して決定される中、金利は上昇基調で推移しました。ただ、ドイツをはじめとする欧州各国の経済指標が落ち込み、欧州の景況への懸念が強まったことや、中国不動産市場および中国経済に対する警戒が強まったこと、欧米のインフレ鈍化傾向が続いたことなどを背景に、欧州債金利は揉み合いながら緩やかに上昇しました。一方で、当期末にかけては、ユーロ圏の2023年10月の購買担当者景気指数（PMI）の軟調な結果等を背景として、欧州経済の減速が市場で意識されたことを受けて、欧州債金利は低下しました。

（為替市況：ドル円市場）

当期初は円高が進展する局面も見られました。その後、2023年4月から6月末にかけては、米国の金融引締めや、日銀による金融緩和継続の姿勢が意識され、米ドル高円安基調で推移しました。しかし、7月に内田日銀副総裁によるインタビュー記事が注目され、政策修正が意識されると、一時的に円が買われる場面もありました。8月には日銀によって政策変更が行われましたが、さらなる金融引締めのタイミングが遠いであろうことが市場で意識されたことや、米国経済の底堅さを背景とした米国債金利の上昇を受けて、8月以降は再び円安基調での推移となりました。

（為替市況：ユーロ円市場）

当期初は円高が進展する局面も見られました。その後、2023年4月から6月末にかけては、ECBが金融引締めを積極的に進めていたことや、日銀の総裁交代後も日本の金融政策が直ちには変更されないとの理解が市場で広がったことから、大きくユーロ高円安が進行しました。7月以降は、ドイツの経済指標が大きな落ち込みを示したことや、欧州圏のインフレ率の鈍化を背景にECBが利上げペースを緩めるとの観測が広がる中、ユーロ円は上値が抑えられる展開となりました。一方で、当期末にかけては、ECBのラガルド総裁が当面の利下げを排除する旨の発言を行ったこと等を受けて、再びユーロ高が進む局面も見られました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末の2023年11月20日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.36年、時価最終利回りは4.24%となっています。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当期の基準価額の騰落率は+7.9%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+8.1%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因、カストディアン（保管費用）などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

<分配金>

当期の収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第2期
	2022年11月22日～ 2023年11月20日
当期分配金 （対基準価額比率）	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,201

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

引き続き、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年11月22日～2023年11月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	21	0.197	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.045	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	26	0.242	
期中の平均基準価額は、10,448円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

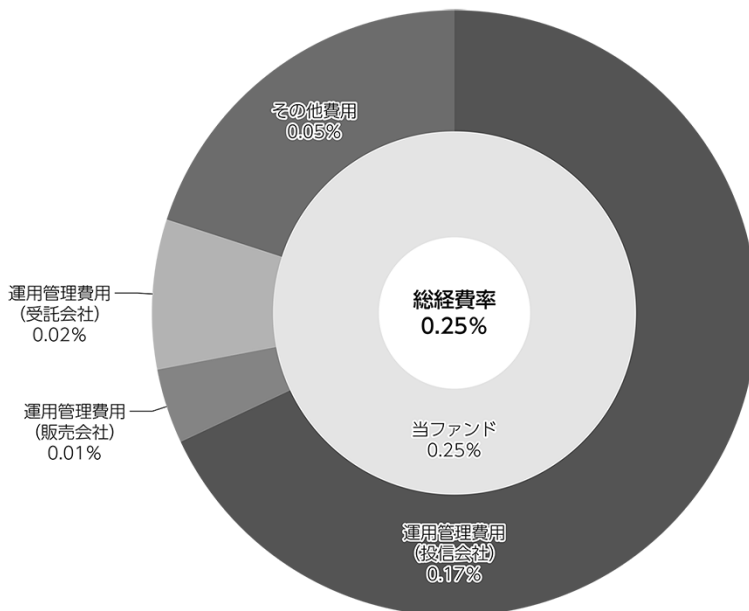
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.25%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジなし）（投資一任用）

○売買及び取引の状況

（2022年11月22日～2023年11月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 9,010	千円 9,622	千口 270	千円 285

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年11月22日～2023年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2022年11月22日～2023年11月20日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年11月22日～2023年11月20日）

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
千円 -	千円 1,000	千円 -	千円 1,000	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

（2023年11月20日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 2,251	千口 10,991	千円 12,369

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジなし）（投資一任用）

○投資信託財産の構成

（2023年11月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	12,369	99.0
コール・ローン等、その他	122	1.0
投資信託財産総額	12,491	100.0

（注1）評価額の単位未満は切り捨て。

（注2）しんきん先進国債券インデックスマザーファンドにおいて、2023年11月20日現在における外貨建純資産（3,034,273千円）の投資信託財産総額（3,039,399千円）に対する比率は99.8%です。

（注3）外貨建資産は、2023年11月20日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年11月20日現在、1ドル=149.95円、1カナダドル=109.25円、1ユーロ=163.54円、1ポンド=186.69円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年11月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,491,015
コール・ローン等	121,529
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド(評価額)	12,369,486
(B) 負債	8,374
未払信託報酬	8,177
その他未払費用	197
(C) 純資産総額(A－B)	12,482,641
元本	11,143,679
次期繰越損益金	1,338,962
(D) 受益権総口数	11,143,679口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,202円

（注1）当ファンドの期首元本額は2,263,495円、期中追加設定元本額は9,316,544円、期中一部解約元本額は436,360円です。

（注2）1口当たり純資産額は1.1202円です。

○損益の状況（2022年11月22日～2023年11月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	686,638
売買益	695,112
売買損	△ 8,474
(B) 信託報酬等	△ 11,789
(C) 当期損益金(A+B)	674,849
(D) 前期繰越損益金	△ 24,658
(E) 追加信託差損益金	688,771
(配当等相当額)	(75,127)
(売買損益相当額)	(613,644)
(F) 計(C+D+E)	1,338,962
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,338,962
追加信託差損益金	688,771
(配当等相当額)	(92,406)
(売買損益相当額)	(596,365)
分配準備積立金	650,191

（注1）損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（132,321円）、費用控除後の有価証券等損益額（505,258円）、信託約款に規定する収益調整金（688,771円）および分配準備積立金（12,612円）より分配対象収益は1,338,962円（10,000口当たり1,201円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）

しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用)	0円
しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)(投資一任用)	0円

運用報告書

親投資信託

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

第2期

(決算日：2023年11月20日)

しんきん先進国債券インデックスマザーファンドの第2期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	外国の公社債を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①主として外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <p>②外貨建資産の組入比率については、原則として高位を保ちます。</p> <p>③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
投資制限	<p>①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>③投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑥同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑦外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) [*] (ベンチマーク)		債組入比	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率		
(設定日) 2022年2月18日	円 10,000	% -	ポイント 10,000	% -	% -	百万円 2,999
1期(2022年11月21日)	10,405	4.1	10,387	3.9	99.1	2,515
2期(2023年11月20日)	11,254	8.2	11,232	8.1	98.4	3,039

(注1) 当初設定時の基準価額は当初元本(1万円当たり10,000円)として記載しています。(以下同じ。)

(注2) FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。(以下同じ。)

○当期中の基準価額と市況等の推移

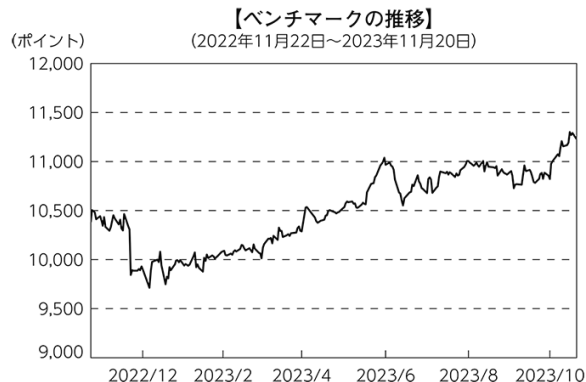
年月日	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) [*] (ベンチマーク)		債組入比	騰落率
	騰落	騰落率	騰落	騰落率		
(期首) 2022年11月21日	円 10,405	% -	ポイント 10,387	% -	% 99.1	
11月末	10,373	△0.3	10,344	△0.4	99.1	
12月末	9,855	△5.3	9,898	△4.7	98.8	
2023年1月末	9,949	△4.4	9,955	△4.2	98.7	
2月末	10,096	△3.0	10,084	△2.9	98.5	
3月末	10,212	△1.9	10,159	△2.2	98.3	
4月末	10,290	△1.1	10,289	△1.0	98.4	
5月末	10,568	1.6	10,575	1.8	98.2	
6月末	10,980	5.5	10,968	5.6	98.9	
7月末	10,714	3.0	10,678	2.8	98.9	
8月末	11,021	5.9	11,005	5.9	98.6	
9月末	10,872	4.5	10,868	4.6	99.1	
10月末	10,842	4.2	10,821	4.2	98.6	
(期末) 2023年11月20日	円 11,254	% 8.2	ポイント 11,232	% 8.1	% 98.4	

(注) 騰落率は期首比です。

※FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第2期の運用経過等（2022年11月22日～2023年11月20日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）が積極的な金融引締めを続け、日米金利差が拡大したことから、米ドルが対円で上昇したこと。
- ・欧州中央銀行（ECB）がインフレ高進を抑制するために、積極的な金融引締めを進めたことで、日欧金利差の拡大が意識され、ユーロが対円で上昇したこと。

<下落要因>

- ・FRBによって積極的な利上げが行われ、長期にわたり高金利を維持するとの観測が市場で強まったことや、米国国債の格下げや増発による需給環境の悪化が懸念されたことなどから、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。
- ・欧州のインフレ高進を抑制するため、ECBが積極的な金融引締めを行ってきたことから、欧州主要国の金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

＜投資環境＞

（米国債券市況）

当期初は、レンジ内での推移が見られました。その後、米消費者物価指数（C P I）などがインフレ高進の鈍化を示したものの、米国経済の堅調さを示す経済指標が相次いだことや、F R B 高官によるタカ派発言が散見されたことから、追加利上げ観測が広がり、米国債金利は上昇しました。その後も米国経済の底堅さを受けた米国債金利の上昇が続く中、2023年8月には米国国債の格下げや増発が公表され、需給の悪化懸念が広がることと米国債金利はさらに上昇しました。また、9月と10月においても、F R B が高水準の政策金利を長期間維持するとの見方が市場で広がったことで、米国債金利は上昇基調で推移しました。一方で、11月初めに行われた米連邦公開市場委員会（F O M C）におけるパウエルF R B 議長の発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、当期末にかけて米国債金利は低下しました。

（欧州債券市況）

当期初以降、E C B 政策理事会において政策金利の利上げが連続して決定される中、金利は上昇基調で推移しました。ただ、ドイツをはじめとする欧州各国の経済指標が落ち込み、欧州の景況への懸念が強まったことや、中国不動産市場および中国経済に対する警戒が強まったこと、欧米のインフレ鈍化傾向が続いたことなどを背景に、欧州債金利は揉み合いながら緩やかに上昇しました。一方で、当期末にかけては、ユーロ圏の2023年10月の購買担当者景気指数（P M I）の軟調な結果等を背景として、欧州経済の減速が市場で意識されたことを受けて、欧州債金利は低下しました。

（為替市況：ドル円市場）

当期初は円高が進展する局面も見られました。その後、2023年4月から6月末にかけては、米国の金融引締めや、日銀による金融緩和継続の姿勢が意識され、米ドル高円安基調で推移しました。しかし、7月に内田日銀副総裁によるインタビュー記事が注目され、政策修正が意識されると、一時的に円が買われる場面もありました。8月には日銀によって政策変更が行われましたが、さらなる金融引締めのタイミングが遠いであろうことが市場で意識されたことや、米国経済の底堅さを背景とした米国債金利の上昇を受けて、8月以降は再び円安基調での推移となりました。

（為替市況：ユーロ円市場）

当期初は円高が進展する局面も見られました。その後、2023年4月から6月末にかけては、E C B が金融引締めを積極的に進めていたことや、日銀の総裁交代後も日本の金融政策が直ちには変更されないとの理解が市場で広がったことから、大きくユーロ高円安が進行しました。7月以降は、ドイツの経済指標が大きな落ち込みを示したことや、欧州圏のインフレ率の鈍化を背景にE C B が利上げペースを緩めるとの観測が広がること、ユーロ円は上値が抑えられる展開となりました。一方で、当期末にかけては、E C B のラガルド総裁が当面の利下げを排除する旨の発言を行ったこと等を受けて、再びユーロ高が進む局面も見られました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末の2023年11月20日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.36年、時価最終利回りは4.24%となっています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は+8.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は +8.1%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因、カストディーフィー（保管費用）などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

＜今後の運用方針＞

引き続き、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 4	% 0.037	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	4	0.037	
期中の平均基準価額は、10,481円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2022年11月22日～2023年11月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 4,836	千ドル 3,631
	カナダ	国債証券	千カナダドル 338	千カナダドル 289
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	589	366
	イタリア	国債証券	630	452
	フランス	国債証券	551	325
	イギリス	国債証券	千ポンド 385	千ポンド 141

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月22日～2023年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千ドル 14,143	千ドル 12,330	千円 1,848,936	% 60.8	% —	% 26.3	% 22.0	% 12.6
カナダ	千カナダドル 752	千カナダドル 669	73,094	2.4	—	1.6	0.4	0.4
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,683	1,533	250,857	8.3	—	4.9	2.1	1.2
イタリア	1,946	1,800	294,425	9.7	—	4.8	4.1	0.8
フランス	2,324	2,014	329,434	10.8	—	6.5	2.5	1.8
イギリス	千ポンド 1,242	千ポンド 1,045	195,134	6.4	—	4.4	1.6	0.5
合 計	—	—	2,991,882	98.4	—	48.5	32.6	17.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第2期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千ドル	千ドル	千円		
アメリカ	国債証券	T-BOND 2.000 08/15/51	2.0	702	413	61,933	2051/8/15
		T-BOND 2.000 11/15/41	2.0	415	275	41,243	2041/11/15
		T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	710	539	80,842	2048/5/15
		T-BOND 4.000 11/15/52	4.0	352	316	47,520	2052/11/15
		T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	325	334	50,190	2037/2/15
		T-NOTE 0.375 01/31/26	0.375	240	218	32,692	2026/1/31
		T-NOTE 0.500 05/31/27	0.5	327	284	42,601	2027/5/31
		T-NOTE 0.625 05/15/30	0.625	240	188	28,240	2030/5/15
		T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	50	38	5,834	2030/8/15
		T-NOTE 0.750 01/31/28	0.75	577	494	74,208	2028/1/31
		T-NOTE 0.750 03/31/26	0.75	250	228	34,195	2026/3/31
		T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	240	189	28,375	2030/11/15
		T-NOTE 1.000 07/31/28	1.0	133	113	17,021	2028/7/31
		T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	643	613	92,037	2025/1/15
		T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	340	270	40,521	2031/11/15
		T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	400	335	50,362	2030/2/15
		T-NOTE 1.500 08/15/26	1.5	327	300	45,059	2026/8/15
		T-NOTE 1.500 11/30/28	1.5	283	245	36,789	2028/11/30
		T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	332	309	46,471	2026/2/15
		T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	230	213	31,998	2026/5/15
		T-NOTE 1.625 05/15/31	1.625	240	197	29,588	2031/5/15
		T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	200	171	25,763	2029/8/15
		T-NOTE 1.750 11/15/29	1.75	300	258	38,722	2029/11/15
		T-NOTE 2.000 02/15/25	2.0	276	265	39,818	2025/2/15
		T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	243	231	34,644	2025/8/15
		T-NOTE 2.000 11/15/26	2.0	267	247	37,113	2026/11/15
		T-NOTE 2.125 05/15/25	2.125	286	274	41,086	2025/5/15
		T-NOTE 2.250 02/15/27	2.25	267	248	37,245	2027/2/15
		T-NOTE 2.250 08/15/27	2.25	527	485	72,853	2027/8/15
		T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	206	200	29,995	2024/11/15
		T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	240	228	34,202	2025/11/15
		T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	280	256	38,527	2027/11/15
		T-NOTE 2.375 05/15/29	2.375	284	254	38,235	2029/5/15
		T-NOTE 2.500 02/15/45	2.5	545	376	56,513	2045/2/15
		T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	240	229	34,360	2026/1/31
		T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	294	268	40,269	2029/2/15
		T-NOTE 2.750 02/15/28	2.75	333	310	46,570	2028/2/15
		T-NOTE 2.750 02/28/25	2.75	286	277	41,609	2025/2/28
		T-NOTE 2.875 05/15/28	2.875	133	124	18,636	2028/5/15
		T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	286	276	41,535	2025/5/31
T-NOTE 2.875 08/15/28	2.875	283	263	39,528	2028/8/15		
T-NOTE 3.000 10/31/25	3.0	190	183	27,488	2025/10/31		
T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	133	124	18,739	2028/11/15		
T-NOTE 3.500 02/15/33	3.5	350	324	48,669	2033/2/15		
T-NOTE 3.875 08/15/33	3.875	100	95	14,310	2033/8/15		

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第2期ー

銘柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千ドル	千ドル	千円		
	国債証券 T-NOTE 4.125 11/15/32	4.125	238	231	34,766	2032/11/15	
小 計					1,848,936		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
	国債証券 CAN 0.500 09/01/25	0.5	105	97	10,695	2025/9/1	
	CAN 0.500 12/01/30	0.5	31	24	2,712	2030/12/1	
	CAN 1.000 06/01/27	1.0	51	46	5,042	2027/6/1	
	CAN 1.000 09/01/26	1.0	19	17	1,905	2026/9/1	
	CAN 1.250 06/01/30	1.25	31	26	2,900	2030/6/1	
	CAN 1.500 06/01/31	1.5	45	38	4,200	2031/6/1	
	CAN 1.500 12/01/31	1.5	61	51	5,644	2031/12/1	
	CAN 2.000 06/01/28	2.0	38	35	3,847	2028/6/1	
	CAN 2.000 06/01/32	2.0	51	44	4,876	2032/6/1	
	CAN 2.000 12/01/51	2.0	81	59	6,459	2051/12/1	
	CAN 2.250 06/01/25	2.25	20	19	2,110	2025/6/1	
	CAN 2.250 06/01/29	2.25	35	32	3,546	2029/6/1	
	CAN 2.250 12/01/29	2.25	70	64	7,055	2029/12/1	
	CAN 2.750 06/01/33	2.75	60	55	6,061	2033/6/1	
	CAN 2.750 12/01/48	2.75	7	6	664	2048/12/1	
	CAN 4.000 06/01/41	4.0	47	49	5,368	2041/6/1	
小 計					73,094		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券 DBR 0.000 02/15/31	—	37	31	5,070	2031/2/15	
	DBR 0.000 02/15/32	—	146	119	19,478	2032/2/15	
	DBR 0.000 08/15/26	—	100	92	15,197	2026/8/15	
	DBR 0.000 08/15/29	—	72	62	10,243	2029/8/15	
	DBR 0.000 08/15/30	—	60	51	8,342	2030/8/15	
	DBR 0.000 08/15/31	—	46	38	6,224	2031/8/15	
	DBR 0.000 08/15/50	—	130	62	10,297	2050/8/15	
	DBR 0.250 02/15/29	0.25	86	76	12,554	2029/2/15	
	DBR 0.250 08/15/28	0.25	22	19	3,242	2028/8/15	
	DBR 0.500 02/15/25	0.5	164	158	25,935	2025/2/15	
	DBR 0.500 02/15/26	0.5	81	76	12,578	2026/2/15	
	DBR 0.500 08/15/27	0.5	79	73	11,986	2027/8/15	
	DBR 1.000 08/15/25	1.0	66	63	10,423	2025/8/15	
	DBR 1.250 08/15/48	1.25	82	59	9,772	2048/8/15	
	DBR 2.300 02/15/33	2.3	53	51	8,493	2033/2/15	
	DBR 2.400 11/15/30	2.4	70	69	11,358	2030/11/15	
	DBR 3.250 07/04/42	3.25	131	138	22,653	2042/7/4	
	DBR 4.000 01/04/37	4.0	101	114	18,756	2037/1/4	
	DBR 4.750 07/04/28	4.75	101	110	18,095	2028/7/4	
	DBR 4.750 07/04/34	4.75	36	42	7,029	2034/7/4	
	OBL 1.300 10/15/27	1.3	20	19	3,121	2027/10/15	
イタリア	国債証券 BTPS 0.000 12/15/24	—	160	154	25,192	2024/12/15	
	BTPS 0.450 02/15/29	0.45	88	74	12,173	2029/2/15	
	BTPS 0.500 02/01/26	0.5	109	102	16,706	2026/2/1	
	BTPS 1.250 12/01/26	1.25	95	88	14,544	2026/12/1	

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第2期ー

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	国債証券	BTPS 1.350 04/01/30	1.35	130	111	18,279	2030/4/1
		BTPS 1.650 03/01/32	1.65	50	41	6,811	2032/3/1
		BTPS 1.800 03/01/41	1.8	160	106	17,414	2041/3/1
		BTPS 2.000 02/01/28	2.0	170	159	26,100	2028/2/1
		BTPS 2.000 12/01/25	2.0	195	189	30,975	2025/12/1
		BTPS 2.150 03/01/72	2.15	35	19	3,118	2072/3/1
		BTPS 2.250 09/01/36	2.25	60	47	7,709	2036/9/1
		BTPS 2.500 12/01/32	2.5	99	86	14,220	2032/12/1
		BTPS 3.350 03/01/35	3.35	78	70	11,566	2035/3/1
		BTPS 3.850 09/01/49	3.85	57	49	8,129	2049/9/1
		BTPS 4.750 09/01/44	4.75	67	67	10,989	2044/9/1
		BTPS 5.000 09/01/40	5.0	80	83	13,576	2040/9/1
		BTPS 5.750 02/01/33	5.75	120	134	21,984	2033/2/1
BTPS 6.500 11/01/27	6.5	193	213	34,934	2027/11/1		
フランス	国債証券	FRTR 0.000 02/25/27	—	47	42	7,002	2027/2/25
		FRTR 0.000 05/25/32	—	100	77	12,687	2032/5/25
		FRTR 0.000 11/25/30	—	22	17	2,937	2030/11/25
		FRTR 0.250 11/25/26	0.25	63	58	9,522	2026/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	185	177	29,075	2025/5/25
		FRTR 0.500 05/25/26	0.5	80	75	12,309	2026/5/25
		FRTR 0.500 05/25/29	0.5	84	73	12,101	2029/5/25
		FRTR 0.500 05/25/40	0.5	206	129	21,208	2040/5/25
		FRTR 0.750 11/25/28	0.75	74	66	10,923	2028/11/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	47	44	7,208	2027/5/25
		FRTR 1.000 11/25/25	1.0	70	67	10,997	2025/11/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	303	239	39,146	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	122	110	18,037	2031/5/25
		FRTR 1.500 05/25/50	1.5	229	147	24,163	2050/5/25
		FRTR 1.750 11/25/24	1.75	67	65	10,766	2024/11/25
		FRTR 2.000 11/25/32	2.0	111	101	16,653	2032/11/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	115	112	18,363	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	186	185	30,282	2027/10/25
		FRTR 3.000 05/25/33	3.0	100	99	16,217	2033/5/25
FRTR 4.500 04/25/41	4.5	28	31	5,177	2041/4/25		
FRTR 6.000 10/25/25	6.0	85	89	14,651	2025/10/25		
小 計						874,717	
イギリス				千ポンド	千ポンド		
	国債証券	UKT 0.250 01/31/25	0.25	16	15	2,834	2025/1/31
		UKT 0.250 07/31/31	0.25	76	57	10,683	2031/7/31
		UKT 0.375 10/22/30	0.375	55	43	8,055	2030/10/22
		UKT 0.625 07/31/35	0.625	52	34	6,480	2035/7/31
		UKT 0.875 01/31/46	0.875	100	49	9,161	2046/1/31
		UKT 0.875 07/31/33	0.875	162	120	22,443	2033/7/31
		UKT 0.875 10/22/29	0.875	37	31	5,795	2029/10/22
		UKT 1.125 10/22/73	1.125	15	5	1,040	2073/10/22
		UKT 1.500 07/22/26	1.5	95	88	16,545	2026/7/22

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第2期ー

銘柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イギリス	%	千ポンド	千ポンド	千円	
国債証券	UKT 1.625 10/22/28	68	60	11,379	2028/10/22
	UKT 2.000 09/07/25	36	34	6,435	2025/9/7
	UKT 3.750 07/22/52	80	70	13,076	2052/7/22
	UKT 4.000 01/22/60	108	99	18,595	2060/1/22
	UKT 4.125 01/29/27	45	44	8,375	2027/1/29
	UKT 4.250 12/07/27	58	58	10,899	2027/12/7
	UKT 4.250 12/07/46	155	148	27,653	2046/12/7
	UKT 4.500 12/07/42	54	53	10,053	2042/12/7
	UKT 5.000 03/07/25	30	30	5,625	2025/3/7
小 計				195,134	
合 計				2,991,882	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,991,882	% 98.4
コール・ローン等、その他	47,517	1.6
投資信託財産総額	3,039,399	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (3,034,273千円) の投資信託財産総額 (3,039,399千円) に対する比率は99.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年11月20日現在、1ドル=149.95円、1カナダドル=109.25円、1ユーロ=163.54円、1ポンド=186.69円です。

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第2期ー

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年11月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,039,399,608	
コール・ローン等	30,964,536	
公社債(評価額)	2,991,882,472	
未収利息	13,553,908	
前払費用	2,998,692	
(B) 負債	193	
未払利息	4	
その他未払費用	189	
(C) 純資産総額(A-B)	3,039,399,415	
元本	2,700,804,327	
次期繰越損益金	338,595,088	
(D) 受益権総口数	2,700,804,327口	
1万口当たり基準価額(C/D)	11,254円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は2,417,940,727円、期中追加設定元本額は535,531,998円、期中一部解約元本額は252,668,398円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
 しんきん外国債券インデックススペシャル(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定) 2,228,104,557円
 しんきんG7外国債券インデックスファンド(3ヵ月決算型) 460,782,496円
 しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)(投資一任用) 10,991,191円
 しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用) 926,083円

(注3) 1口当たり純資産額は1,1254円です。

○損益の状況 (2022年11月22日～2023年11月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	58,731,969	
受取利息	58,738,110	
その他収益金	28	
支払利息	△ 6,169	
(B) 有価証券売買損益	164,475,099	
売買益	251,684,007	
売買損	△ 87,208,908	
(C) 保管費用等	△ 953,221	
(D) 当期損益金(A+B+C)	222,253,847	
(E) 前期繰越損益金	98,018,545	
(F) 追加信託差損益金	39,058,798	
(G) 解約差損益金	△ 20,736,102	
(H) 計(D+E+F+G)	338,595,088	
次期繰越損益金(H)	338,595,088	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。